

# 解答NO2

## 【解答】

- 問1 (ア) No.1 3 No.2 1 No.3 1  
 (イ) No.1 4 No.2 1 No.3 3 No.4 2  
 (ウ) No.1 1 No.2 2 No.3 3

- 問2 (ア) **woman** (イ) **talking**  
 (ウ) **wrote** (エ) **back**

- 問3 (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 4 (エ) 2

- 問4 (ア) 4 1 5 (イ) 3 2 4 (ウ) 5 2 1  
 (エ) 1 4 2

(ア)~(エ)それぞれ順番に全部できて得点

- 問5 ア 3 イ 2 ウ 4 エ 3

- 問6 (ア) 3 (イ) 3 (ウ) 3 (エ) 4 (オ) 6

- 問7 (ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3 (エ) 4 (オ) 5

問4・問6・問7 2(点)×14(問)=28(点)

その他 1(点)×22(問)=22(点)

## 【解説】

- 問1 リスニング

(ア) No.1 「だれがバッグを買うつもりですか」

No.2 「Billは何色が好きですか」

No.3 「Sallyはいくら必要ですか」

(イ) No.1 「あなたはどうですか」は、この場合は、「あなたはひまなときたいい何をしますか」の意味。

No.2 「あなたはいつそれを買いましたか」とたずねているので、「時」を答えている文を選ぶ。

No.3 「あなたのお父さんはあなたといっしょに行きますか」に対する答え。

No.4 「あなたは何が好きですか」は、この場合は、「あなたはどんな日本料理が好きですか」の意味。

(ウ) No.1 「だれがふるしきの使い方を知っていますか」  
 No.2 「Mayumiがオーストラリアを訪れたとき、何歳でしたか」

No.3 「Mayumiについて私たちは何が言えますか」

- 問2 適語補充

(ア) 「女性」は **woman**。複数形の **women** にも注意。

(イ) **enjoy ~ing** で「~して楽しむ」。

(ウ) **write** の過去形は **wrote**。her husband wrote が a book を修飾している。

(エ) **come back** 「戻ってくる」

- 問3 適語選択

(ア) **when I came in** が過去なので、文の前半も過去の文にする。主語は **the students** で複数。

(イ) 特定の日の前には **on** を置く。「5月に」なら **in May** となる。

(ウ) **has** があるので現在完了の文。動詞は過去分詞。ここでは「ちょうど~したところだ」の完了の意味。

(エ) <call+人~> 「人を~と呼ぶ」。「ぼくを **Masa** と呼んでね」という意味になる。SVOOCの文型。

- 問4 語順整序

(ア) **watching TV** が後ろから **The boy** を修飾する形になる。形容詞の働きをする現在分詞。「テレビを見ている少年が私の弟[兄]です」。

(イ) <to+動詞の原形>が **something** を修飾する形。「私は列車で食べるものを買うつもりです」。

(ウ) 「私はバッグを作ったことはありません」という文にする。経験の意味の現在完了形の否定文。

(エ) **Mr. Smith gave me** が **a book** を後ろから修飾する形にする。「**Mr. Smith** が私にくれた本」

- 問5 適語選択

**ア群** **mean** 「意味する」 **What do you mean?** 「あなたはどういう意味で言っているの?」ということ。

**イ群** 「私たちは行くのに最もよい時期を知りたい」

**ウ群** 直後に「そのときは桜の花が美しいでしょう」とある。北海道で桜が開花するのは5月。

**エ群** 「彼は喜ぶでしょうね」

- 問6 情報文読解

(ア) 「8月にはボートは毎日2回運行している」

(イ) 「**City C**では最も暑い月が8月で、最も寒い月は2月である」

(ウ) 千葉に1年、長野に1年10か月、東京に2か月住んでいることから考える。

(エ) 「私はそれを読めなかった」と直後の「私はその本をととても楽しんだ」から考える。「それは簡単な英語で書かれていた」が適切。**write - wrote - written** の変化に注意。⇒ 問2 (ウ)

(オ) **C** 「**Eri** は~と思った」→ **B** 「それで祖父に~とたずねた」→ **A** 「彼は~と答えた」とつながる。

- 問7 対話文読解

(ア) **Dan** の8番目の発言参照。「学校での服について考えなくてよいのでそれはよい」とある。**it** は「制服」のことを指している。

(イ) **Naoko** の5番目の発言参照。「**Jack** は運転の授業とスピーチの授業を取っていました。それらはおもしろそうでした」とある。

(ウ) 「なぜ **Naoko** は南高校へ行きたいのですか」  
**Naoko** の11番目の発言参照。また、その4~2行上の文から、この市には高校が3つあることがわかる。

(エ) 「**Naoko** は外国に行きたいので、高校ではもっと一生懸命に英語を勉強したいと思っています」  
**Naoko** の12番目の発言参照。

(オ) (イ) **For example** の後なので、ペンシルベニアの学校と日本の学校の違いである、「制服があること」や「学級担任の先生がいること」が続く。

(ウ) **B**. 「ぼくが滞在している間にぼくの日本語が上達すると思います」